

10.26 CIM 解決研究会第 42 回勉強会のご報告

平成 30 年 11 月 5 日
CIM 解決研究会事務局

去る紀尾井フォーラムにおいて、37 名の参加者を得て第 42 回の CIM 解決研究会勉強会が開催されました。

勉強会前には、正会員のみが参加できるクローズの会が開催され、会員様同士のコミュニケーションツールとして、Slack を導入することを事務局より発表いたしました。また、勉強会冒頭では、(株)寺島コンサルタントの西藤様、(株)堀江商会の細川様より、富山県での CIM 解決研究会主催のセミナー開催に関するお話を頂きました。



「建設生産プロセス変革のための IoT オープンプラットフォーム LANDLOG の取り組みについて」(株)ランドログ椎葉航様
オープンプラットフォーム「LANDOLOG」の導入による、現場作業員や機械稼働のみえる化に関する事例紹介を頂きました。
参加者の方からは「大規模現場での活用から小規模現場に展開できると良いかなと思いました。」といった感想を頂きました。



「～i-Construction と BIM/CIM に向けたソフトウェアの進化～本格化する三次元データの活用点群から3D モデル・VR
まで福井コンピュータ製品バージョンアップのご紹介」 福井コンピュータ(株) 浅田 一央様

3D 点群処理システム「TREND-POINT」の新機能や、VR とパノラマ画像を活用した現場の事前確認や VR 上での書類確認に関するお話を頂きました。参加者の方からは「国交省の方向性等勉強になりました。」といった感想を頂きました。



「現場の 3 次元化事例等」 当会 福士幹雄、齊藤学一

福士からは、レーザースキャナを使用した着工前現場のみえる化事例などの発表をさせて頂きました。齊藤からは、(株)アクティオ様との建設会社向けソリューション提供の協業や、NEXCAM の導入提案事例などの発表をさせて頂きました。参加者の方からは「現場活用の有意性が理解できた。」といった感想を頂きました。



勉強会終了後の懇親会には 28 名の方にご参加いただきました。沢山ご来場頂き有難うございました。

